

平成29年ホヤ類調査結果速報 No. 1

平成29年7月31日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試HPでも見ることができます。

【アドレス：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/hakodate/>】

7月24日に渡島管内八雲地区において、耳吊ホタテガイ付着物および浮遊幼生の調査を行いました。

結果概要

- 耳吊りホタテガイ上に、ヨーロッパザラボヤの付着が確認されました(図1)。サイズは小さく、まだ、肉眼では識別できない個体がほとんどです(図2)。
- 付着個体数はホタテガイ1枚あたり12.7個体で(表1)、過去の同時期のデータと比較すると平均的な付着個体数です(図3)。
- ヨーロッパザラボヤの浮遊幼生も確認されています(図4)。水温の鉛直分布から、ヨーロッパザラボヤの産卵が本格化しているとみられます(図5)。
- 7~8月はヨーロッパザラボヤの付着数が最も増加する時期であり(図3)、この時期の付着数により、その後の付着重量は大きく左右されます。次回の調査結果を注視下さい。

図1 ホタテガイに付着するヨーロッパザラボヤ稚ボヤ 平成29年7月24日 八雲地区



矢印がヨーロッパザラボヤの稚ボヤ、左下の棒線は1mm

問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 金森・吉田
TEL：0138-83-2893 FAX：0138-83-2849

1：耳吊りホタテ貝付着物調査

〔調査月日：7月24日、調査場所：八雲沖、採取数：上中下層 各5枚〕

ホタテガイを上層、中層、下層から5枚ずつ抽出し、肉眼及び実体顕微鏡を用いて、付着物を調査しました。ヨーロッパザラボヤの付着が確認されました（図1）。ヨーロッパザラボヤの平均付着個体数はホタテガイ1枚あたり12.7個体、平均サイズは2.1mmと微小な個体が中心です（図1、2）。過去5ヶ年の同時期のデータと比較すると、平成29年は平年並みの付着個体数です。例年、最も個体数が増加する7～8月にかけて、どの程度増加するか注視する必要があります（図3）。

表1 付着生物調査結果（八雲地区：平成29年7月24日）

ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	地区平均
全付着物重量	11.5g	8.5g	4.7g	8.3g
ヨーロッパザラボヤ	0.1g未満	0.1g未満	0.1g未満	0.1g未満
その他	11.4g	8.5g	4.7g	8.2g
ヨーロッパザラボヤ個体数	7.4個体	14.2個体	16.4個体	12.7個体
平成28年6月（H28.6.28）の個体数	16.8個体	22.8個体	21.4個体	20.3個体
平成27年7月（H27.7.21）の個体数	31.2個体	26.0個体	40.8個体	32.7個体
平成26年7月（H26.7.24）の個体数	2.4個体	11.0個体	14.8個体	9.4個体

※平成28年は7月のデータが欠測のため、6月の調査（6月28日）のデータを示しています。

図2 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲地区：平成29年6～7月）

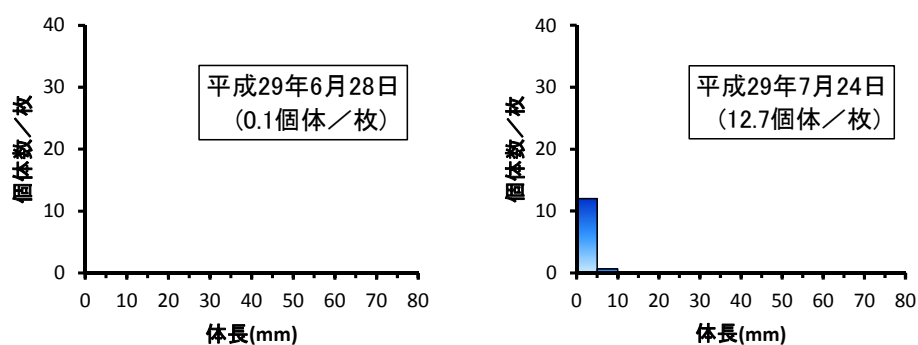
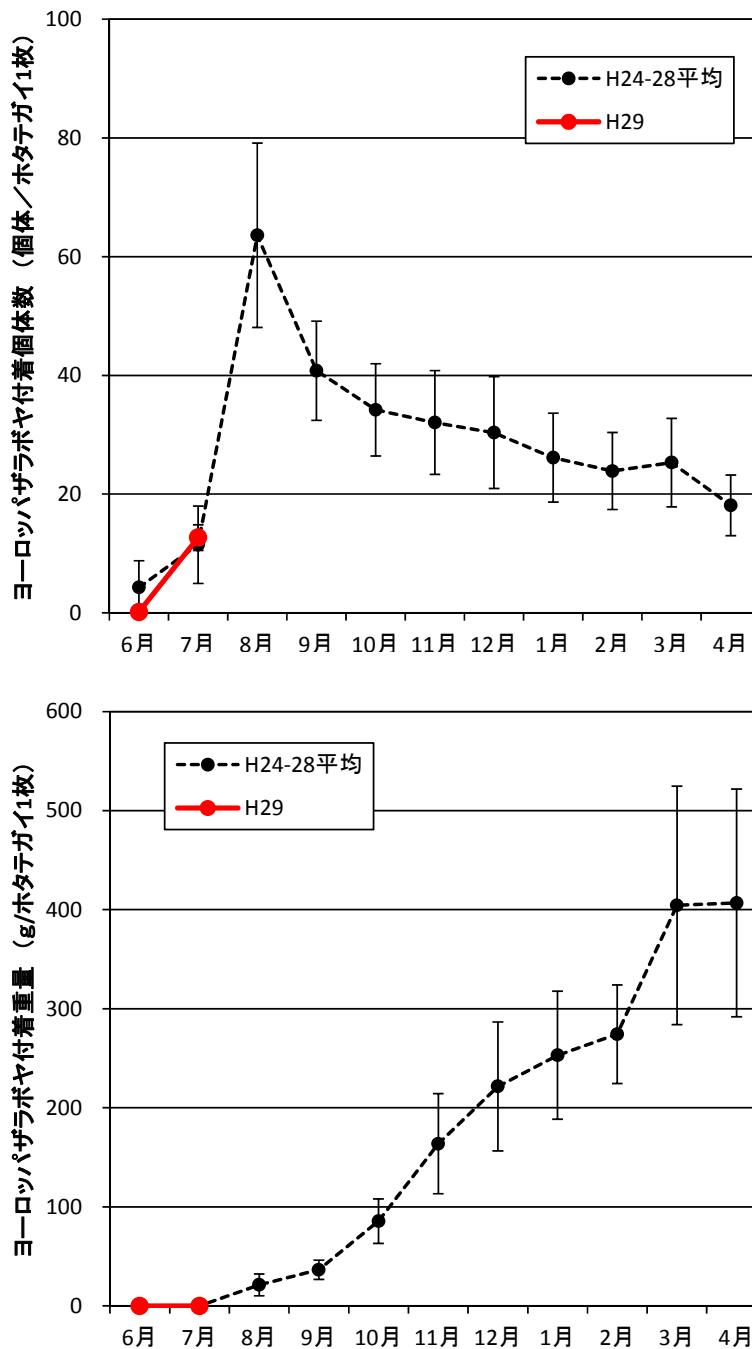


図3 ヨーロッパザラボヤの付着量（八雲地区）



上：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化

下：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化

各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。過去5ヶ年（H24～28年）のデータでは、ヨーロッパザラボヤのホタテガイへの付着は7～8月が最も多くなっています。付着重量は10月以降、急激に増加します。

2：浮遊幼生調査結果

2-1. 八雲地区調査結果

[調査月日：平成 29 年 7 月 24 日、調査場所：八雲沖水深 17m、水深 32m、水深 40m]

ヨーロッパザラボヤの浮遊幼生は 3 地点の平均で海水 1t あたり 1.4 個体でした（図 4）。水温上昇期におけるヨーロッパザラボヤの産卵は 13℃から始まります。また、ヨーロッパザラボヤの成体は深度 10m 以深に多く見られます。水温上昇期は表層から水温が上がりますので、深度 10m の水温が 13℃を越えることがヨーロッパザラボヤの個体群の繁殖が本格化する目安と考えています。八雲沖の深度 10m の水温は 6 月で 10.7℃、7 月で 20.4℃でした（図 5）。7 月に入り、ヨーロッパザラボヤの産卵は本格化していると考えられます。今後も浮遊幼生の出現およびホタテガイへの付着が継続すると見込まれます。

図 4. ホヤ幼生出現状況の経年比較（八雲地区）

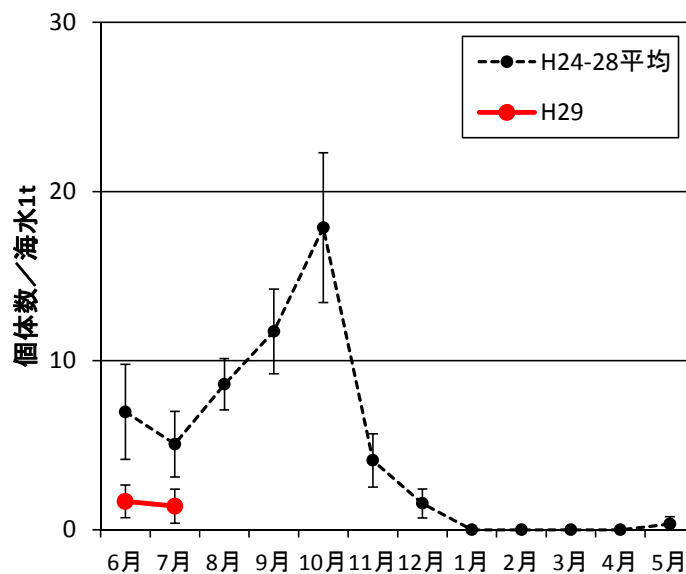


図 5. 八雲沖 3 マイル定点の水温の鉛直分布（平成 29 年 6 月 28 日、7 月 24 日）

